

## ジンコソーラー、日本 Quantum Group と 187MW の協力協定を締結

上海、2017年6月12日ー太陽光発電メーカー大手のジンコソーラーホールディングス株式会社は（“ジンコソーラー” または “会社”）ジンコソーラー・ジャパンが日本 Quantum Power GK と 187MW の協力協定を締結したと発表した

Quantum Group はグローバルの再生エネルギー業界でリーディングカンパニーにて、案件開発、工事、融資、工事請負いと資産管理をしている、世界4GWのプロジェクトに運営サービスを提供している。枠組み協定によって、ジンコソーラー・ジャパンは Quantum Power GK の茨城県、群馬県と三重県3つのプロジェクトに187MWの高効率JKM275PP-60-Jモジュールを提供する。三重県のプロジェクトは Quantum Power GK の最大総合再生エネルギープロジェクトとなって、東京から330キロメートルの三重県の松阪市に設置する。そのプロジェクトは太陽光発電所を運営して、年間発電量約127500MWh、一般の家庭約9万世帯の電力需要を賄うことができる。発電所は2017年7月から施工し、2018年11月完成する予定。ジンコソーラー・ジャパンは3つプロジェクトのEPC担当者と納品協定を締結し、2017年第4四半期から納品予定となる。

「太陽光発電業界のリーディングカンパニーのジンコソーラーと協力関係を築けることは大変喜ばしいことです。」と Quantum Power GK 日本代表取締役 Lluís Torrent がコメントした。「我々はこれからサポート企業を探し、信頼できるパートナーと協力して、我々の太陽光発電顧客に最大価値を提供します。」

「Quantum Power GK と協力できて、大変喜ばしいことです。」とジンコソーラーグローバルセールス Gener 苗がコメントした。「今回の協力は日本市場の影響力が増し、日本顧客へのサポート力をさらにアップしました。」